

# INTERIM REPORT



平成21年3月期

## 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに平成21年3月期中間報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社グループは、新規顧客の獲得を重要課題とした第三次中期経営計画「Riso Vision 10」(P2参照)を策定し、その2年目の運営に取り組んでおります。

当中間期は、低価格ながら印刷速度毎分130枚の高速性を付加した『RISOGRAPH RZ430』やリソグラフ専用のコントローラ『RISOコントローラIS300』などの新機種を発売し、デジタル印刷機及び高速カラープリンターの本体設置台数の増加を図るべく販売活動に注力いたしました。高速カラープリンターは国内、海外ともに販売を伸ばしましたが、デジタル印刷機においては販売の減少傾向が続いております。さらに前年同期に比べ円高の影響を強く受けたことにより、残念ながら減収減益の中間決算となりました。通期業績におきましても、同様の理由から減収減益の見通しとなっております。

中期経営計画に掲げておりました平成22年3月期における連結売上高1,000億円、連結売上高営業利益率10%の経営目標につきましては、孔版事業の減収、為替相場における円高の進行が予想以上に進んでいることなどにより、現段階におきまして達成は困難な見通しとなっております。今後も引き続き中期経営計画の基本方針と重点課題に取り組み、魅力ある製品・サービスの提供に努力してまいります。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成20年12月

代表取締役社長  
羽山 明

# 第三次中期経営計画 Riso Vision 10

当社グループでは、インクジェット事業・孔版事業において新規顧客の獲得を重要課題として取り組み、更なる成長を目指します。平成20年3月期から平成22年(2010年)3月期までの第三次中期経営計画は以下の通りです。

## 基本方針

1. インクジェット事業における  
ハード設置の更なる加速

2. 孔版事業における新規顧客獲得

3. 新たな柱となる事業の創出

4. 事業環境変化を先取りした  
開発・技術・製造投資の実行

5. リーダー人材を創出する  
企業風土の醸成

6. CSR活動推進による、  
企業価値の向上

## 平成21年3月期 重点課題

1. 次世代を見据えた商品開発の遂行

2. インクジェット事業における  
収益基盤の構築

3. 孔版事業における収益の確保

4. 海外販売子会社の活性化と体質転換

## 高速プリント対応のエコノミーモデル『RISOGRAPH RZ430』新発売

当社は平成20年5月、高速デジタル印刷機「リソグラフ RZシリーズ」の新機種『RISOGRAPH RZ430』を発売しました。

同機種は高速性に優れたB4対応のエコノミーモデルです。「リソグラフ RZシリーズ」普及機並みの毎分最高130枚のプリントスピードで、大量のプリントを高速処理します。また、印刷機本体を手軽に導入可能な価格に設定し、経済的なランニングコストとあわせて、プリント業務のトータルコストを抑えることができます。

さらに、操作性を重視した本体設計により、印刷の基本機能から消耗品の交換にいたるまで、どなたにでも簡単にお使いいただけるように配慮しています。原稿の種類や仕上がりにあわせて読み取りモードの選択やユーザーに

応じた細かい調整にも対応し、組合や自治会、小規模店舗などで会報や案内、チラシ等の多枚数印刷用途に広くお使いいただけます。



多枚数プリントを  
高速・低コストで処理する  
高速デジタル印刷機  
『RISOGRAPH RZ430』

## リソグラフ専用コントローラの新機種『RISOコントローラIS300』発売

当社は平成20年7月、デジタル印刷機リソグラフの専用コントローラとして、アドビシステムズ社のポストスクリプト3に対応する『RISOコントローラIS300』を発売しました。

同機種は、DTPデータを扱うプリントショップや印刷会社などのプロユースの方々向けに、データの出力作業を簡単に行うことができる新機能を搭載したRIP（画像生成出力装置）です。これまで、プリンタードライバを介して行っていた面付けや画質調整などのユーザー独自の設定をあらかじめ登録することができ、作業案件ごとに設定する手間を省きます。また、登録した設定をホットホルダーとして利用することで、アプリケーションソフトを起動せずにファイルやデータをダイレクトにプリントすることが

できます。

その他にも、多様な出力形態に対応する機能、印刷データを効率的に管理する機能が充実し、ポストスクリプトのより快適な出力環境を提供いたします。



プリント業務の作業効率向上を図る  
『RISOコントローラIS300』

## さまざまな展示会でオルフィスをアピール。新イメージキャラクターに片瀬那奈さんを起用

No Image

当社は、高速カラープリンター・オルフィスを多くのお客様に体験いただくために、さまざまなフェアやイベントへ出展し、当社主催の展示会も各地で開催しています。会場ではご来場の皆様にオルフィスやリソグラフのプリントスピードや経済的なランニングコストを実感していただいています。

本中間期におきましては、アジア最大の店舗総合見本市「JAPAN SHOP 2008」や販売促進・マーケティング向け専門展「ダイレクトマーケティングEXPO」などにオルフィスを出展しました。チラシやダイレクトメールを簡単に作成するための機器として実演を交えて紹介。お客様のニーズに合わせ小ロットから対応できるオルフィスの経済性と利便性をご来場された方々に訴求しました。

また、10月からはオルフィスの宣伝展開を刷新しました。新たに女優の片瀬那奈さんをイメージキャラクターに起用したテレビCMが全国で放映されています。

## 「環境経営報告書2008」を発行

当社は、「環境経営報告書2008」を平成20年7月に発行しました。この報告書では「環境」「経済」「社会」の3つの視点から、当社の活動をわかりやすく伝えることができるように誌面を構成しています。

本年度からは海外における取り組みを紹介する新たなページを加え、海外生産拠点の環境パフォーマンスデータや現地スタッフの声など、グループ全体としての取

組みを掲載しました。また、報告書の内容の信頼性・客観性を高めるために第三者審査を受け、その意見を反映しています。

わかりやすさと信頼性・客観性を追求した  
「環境経営報告書2008」



## 中国・四川大地震被害への災害救援金寄付を実施

当社グループでは、平成20年5月に発生した中国・四川大地震の被害者救済活動を支援するため、7月までに総額474万円の義援金を日本赤十字社ならびに中国の珠海

市紅十字会や四川省成都市教育基金会等の慈善団体を通じて寄付しました。(1元=15.84円で換算)

## 経営の実績－当中間期の概況

当社グループは、印刷機器関連事業における新規顧客の獲得を重要課題に掲げて活動しております。

当中間期は、デジタル印刷機及び高速カラープリンターの本体設置台数の増加を図るべく販売活動に注力してまいりました。高速カラープリンターは国内、海外ともに販売を伸ばしておりますが、デジタル印刷機においては販売が減少傾向にあります。このような中、前年同期に比べ円高の影響もあり、売上高は426億2千7百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益はデジタル印刷機の売上総利益の減少と販売管理費の増加により6億8千9百万円(同69.8%減)、経常利益は8億8千3百万円(同62.5%減)、中間純利益は1億9千2百万円(同85.4%減)となりました。

当中間期の販売実績を地域別に見ますと、国内では、高速カラープリンターは順調に売上を伸ばし、デジタル印刷機の売上もほぼ前年並みに推移しました。この結果、売上高は不動産その他事業も含め227億3百万円(同2.6%増)となりました。

米州では、高速カラープリンターが売上を伸ばし、その増加分でデジタル印刷機の売上減少分をカバーしました。しかしながら、売上高は円高の影響を受け55億1千5百万円(同11.3%減)となりました。

欧州では、高速カラープリンターは前年より売上を伸ばしましたが、デジタル印刷機の売上の減少分をカバーできませんでした。円高の影響も受け、売上高は91億8千2百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

アジアでは、タイ、インド、中国などを中心にデジタル印刷機の売上を伸ばしましたが、為替の影響を受け、売上高は52億2千6百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

## 通期の見通し

孔版事業の減収、為替相場における円高の進行が予想以上に進んだことなどにより、現段階におきまして通期の業績見込は減収減益となる見通しです。このような中、当社グループは第3次中期経営計画「Riso Vision 10」で掲げた重点課題(P2参照)に全力で取り組む所存です。高速カラープリンターでは、世界最速の印刷速度を誇る「ORPHIS X9050」などの新機種を平成21年2月から国内先行で発売し、更なる拡販に努めてまいります。デジタル印刷機では、先進国市場では高付加価値機の販売に注力し、新興国市場では低価格機を中心とした販売により収益力の向上に努め、企業体質の強化を図ってまいります。

通期の業績見通しは、売上高894億円(前期比3.5%減)、営業利益13億6千万円(同74.8%減)、経常利益31億1千万円(同34.0%減)、当期純利益15億円(同9.5%減)を予定しております。

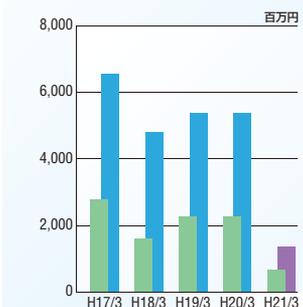
なお、通期業績見通しにおける為替レート(期中平均)は、米ドル103円、ユーロ150円を前提としております。

## 業績ハイライト(連結)

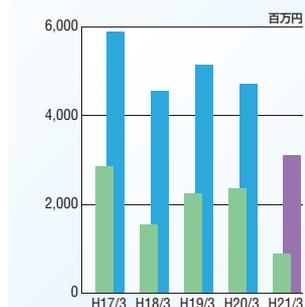
売上高



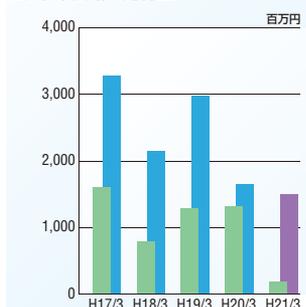
営業利益



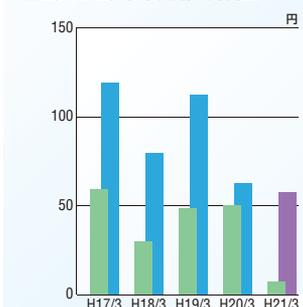
経常利益



当期(中間)純利益



1株当たり当期(中間)純利益



凡例:

■ 中間期 ■ 通期 ■ 通期見込

		平成17年3月期		平成18年3月期		平成19年3月期		平成20年3月期		平成21年3月期	
		中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期見込
売上高	(百万円)	38,932	85,161	40,040	87,601	42,601	90,863	43,535	92,621	42,627	89,400
営業利益	(百万円)	2,792	6,574	1,606	4,812	2,280	5,379	2,279	5,397	689	1,360
経常利益	(百万円)	2,855	5,883	1,556	4,552	2,250	5,139	2,358	4,709	883	3,110
当期(中間)純利益	(百万円)	1,609	3,280	792	2,154	1,292	2,977	1,321	1,657	192	1,500
1株当たり当期(中間)純利益	(円)	59.37	119.29	29.74	79.76	48.64	112.12	49.93	62.73	7.38	57.40

(注)平成17年11月18日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割しております。

当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の「1株当たり当期(中間)純利益」の推移を表記しております。

## 貸借対照表

### (資産の部)

(単位：百万円)

科目	前期	当中間期
	平成20年3月31日	平成20年9月30日
流動資産	70,381	68,546
現金及び預金	24,913	27,016
受取手形及び売掛金	16,147	13,327
有価証券	12,273	9,912
たな卸資産	12,977	14,249
その他	4,379	4,296
貸倒引当金	△ 311	△ 256
固定資産	44,413	44,989
有形固定資産	33,014	33,198
建物及び構築物	7,676	7,496
機械装置及び運搬具	1,655	1,543
土地	18,053	18,053
その他	5,628	6,105
無形固定資産	2,309	2,256
ソフトウェア	1,807	1,808
その他	501	448
投資その他の資産	9,089	9,535
投資有価証券	2,279	2,054
その他	7,075	7,786
貸倒引当金	△ 265	△ 305
資産合計	114,795	113,536

(注) 当中間期の有形固定資産の減価償却累計額 40,420 百万円

### (負債の部)

(単位：百万円)

科目	前期	当中間期
	平成20年3月31日	平成20年9月30日
流動負債	41,472	40,601
支払手形及び買掛金	14,205	13,910
短期借入金	5,389	5,545
一年内返済予定の長期借入金	9	9
一年内償還予定の転換社債	13,286	13,286
その他	8,579	7,849
固定負債	3,526	4,761
長期借入金	98	97
その他	3,425	4,664
負債合計	44,998	45,362

### (純資産の部)

(単位：百万円)

科目	前期	当中間期
	平成20年3月31日	平成20年9月30日
株主資本	68,815	67,580
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	43,131	39,651
自己株式	△ 3,210	△ 965
評価・換算差額等	815	411
その他有価証券評価差額金	831	617
為替換算調整勘定	△ 16	△ 205
少数株主持分	165	181
純資産合計	69,796	68,173
負債純資産合計	114,795	113,536

### POINT 1

#### 現金及び預金・有価証券

有価証券の一部を売却したため、現金及び預金が増加しました。

### POINT 2

#### 一年内償還予定の転換社債

平成21年3月31日に「第2回無担保転換社債」を償還する予定です。

### POINT 3

#### 自己株式

自己株式141万株の売却を実施しました。

## ■ 損益計算書

(単位：百万円)

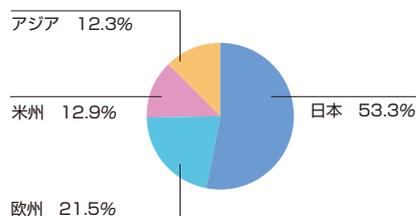
科目	前中間期	当中間期
	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日	平成20年4月1日～ 平成20年9月30日
<b>売上高</b>	43,535	42,627
売上原価	20,954	21,434
売上総利益	22,580	21,193
販売費及び一般管理費	20,300	20,504
<b>営業利益</b>	2,279	689
営業外収益	448	605
営業外費用	369	410
<b>経常利益</b>	2,358	883
特別利益	—	—
特別損失	—	—
<b>税金等調整前中間純利益</b>	2,358	883
法人税、住民税及び事業税	1,046	147
法人税等調整額	△ 22	524
少数株主利益	12	18
<b>中間純利益</b>	1,321	192

## ■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期	当中間期
	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日	平成20年4月1日～ 平成20年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,606	1,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,092	△ 805
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,498	△ 1,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	△ 47
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,907	△ 279
現金及び現金同等物の期首残高	32,667	30,427
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,759	30,148

地域別売上高比率(当中間期)

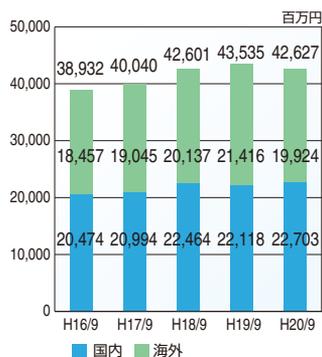


### POINT 4

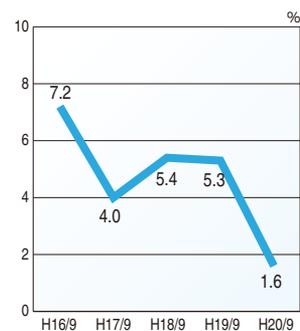
#### 売上高・営業利益

前年同期比907百万円の減収、1,590百万円の減益となりました。売上高の為替影響額は約17億円のマイナスとなりました。

国内・海外売上高(中間期)



売上高営業利益率(中間期)



## 国内

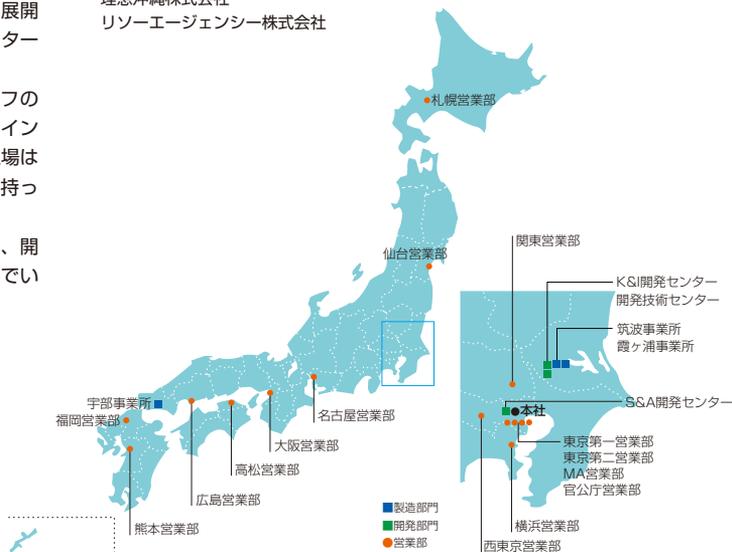
当社の販売ネットワークは15営業部48支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。営業・技術スタッフの育成は、リソー教育センターを中心に全国で行われています。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場はリソグラフのハードウェアを生産しています。霞ヶ浦工場はリソグラフのインク・マスターとオルフィスのインクを生産しています。宇部工場はリソグラフのインク・マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門はS&A開発センターとK&I開発センター、開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

### ◆国内の主な子会社

- 株式会社理想ベック
- 理想沖繩株式会社
- リソーエージェンシー株式会社



本社



K&I開発センター



開発技術センター



霞ヶ浦事業所



筑波事業所



宇部事業所

## 海外

当社は18の海外子会社を中心に、オルフィス、リソグラフなどの販売や、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちとのコミュニケーションを大切にし、多くのお客様をサポートしています。



### ●海外の主な子会社

RISO, INC.  
 RISO CANADA, INC.  
 RISO DE MEXICO, S.A. de C.V.  
 RISO EUROPE LTD.  
 RISO (U.K.) LTD.  
 RISO (Deutschland) GmbH  
 RISO POLAND Sp. Zo.o.  
 RISO FRANCE S.A.  
 RISO IBERICA, S.A.  
 RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.  
 RISO AFRICA (PTY) LTD.  
 RISO HONG KONG LTD.  
 RISO (Thailand) LTD.  
 理想 (上海) 国際貿易有限公司  
 珠海理想科学工業有限公司  
 RISO KOREA LTD.  
 理想工業 (香港) 有限公司  
 RISO INDIA PRIVATE LIMITED



RISO, INC.  
(アメリカ・ボストン)



RISO (Deutschland) GmbH  
(ドイツ・ハンブルク)



RISO (Thailand) LTD.  
(タイ・バンコク)



RISO EUROPE LTD.  
(イギリス・ロンドン)



RISO FRANCE S.A.  
(フランス・リヨン)



珠海理想科学工業有限公司  
珠海工場 (中国・広東省)

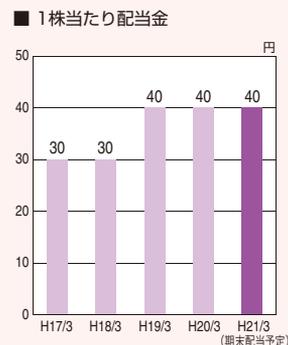
## Q 株主還元はどのような方針をとられていますか？

A 安定配当の継続と自己株式の取得・消却を行っています。

当社は、株主の皆様のご期待にお応えするため、企業価値の継続的な向上を目指し、収益拡大に努めています。

利益配分につきましては、企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針とし、継続的な安定配当に努めております。前期は、個別業績において当期純損失を計上しましたが、1株当たり40円の配当を実施しました。今期も、これまで同様に1株当たり40円の配当を実施する予定です。

また、当中間期は172.3千株の自己株式の取得、発行済株式総数の約5%にあたる自己株式141万株を平成20年7月1日に消却しました。当社は自己株式の保有残高の上限の目安を発行済株式総数の5%とし、今後も適宜消却を行っていく方針です。



## Q 年賀状はプリントゴッコで作れなくなるの？

A これまで通り作れます。関連消耗品は販売を継続しています。

当社は、平成20年6月30日をもってプリントゴッコ本体のメーカー販売を終了しました。昭和52年の発売以来、31年の長きにわたり家庭用のコミュニケーションツールとして広くご愛用いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

なお、ランプ・インク・マスターなどの関連消耗品につきましては、当面販売を継続しています。詳細につきましては、当社ホームページ「プリントゴッコ サポート」にてご案内しています。ご覧ください。



プリントゴッコ サポート  
<http://www.riso.co.jp/pg/index.html>

## 最適なカラーソリューションを提供するオフィスのセンタープリンター オルフィス

「カラープリンターを導入したいけど・・・カラーはコストが高いし、出力に時間がかかり遅くて」。こういったオフィスのニーズに対応するのが理想科学のオルフィス。他を寄せ付けない低ランニングコスト、毎分120枚\*1の高速カラー出力を特長とする、時代のニーズに応えるオフィス用カラープリンターです。ビジネスのプリントワークをソリューションするオルフィス。オフィスのセンタープリンターとして最適なカラーソリューションを提供します。

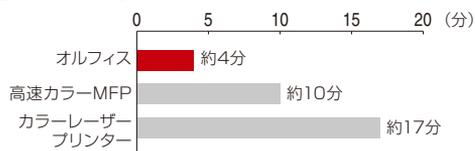


### 特長 1 フルカラープリントが速い、500枚が約4分で終了。

カラー出力が毎分最高120枚\*1のスピードでプリント、500枚のプリントジョブが約4分で終了します。プリントワークがスイスイこなせるオルフィス、オフィス内のプリンターの後ろに行列はできません。

\*1 A4片面横送り、標準設定連続印刷、RISOオートフェンス排紙台接続時。

#### ■ 500枚のプリント時間



### 特長 2 プリントチャージシステム採用で、フルカラーを身近に経済的に。

写真やグラフを多く用いた資料、文書の強調したい部分にはカラーを使いたいものです。オルフィスは、カラードキュメントをより身近に経済的に仕上げます。プリントチャージシステムの採用で1枚あたり10円以下\*2と、圧倒的な低ランニングコストでカラープリントができます。



\*2 用紙代含まず。用紙サイズに関わらず、プリントヘッド通過ごとに1カウントとする。(両面プリントは2カウント)

### 特長 3 コピーもフィニッシュワークも、もちろんセキュリティだってOK。



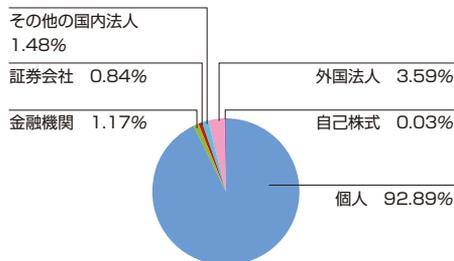
オルフィスはオプションの選択により、お客様のワークフローに合わせた機能拡張が可能です。たとえば、タッチパネルディスプレイとカラーキャナを接続し、A3両面カラーコピー機として使用できます。多機能フィニッシャーシステムを接続すれば、ステープルやパンチ、折り、小冊子の製本などの後加工が簡単に行えます。

ネットワーク環境での機密性を高めるセキュリティ機能も充実しています。ログインユーザー設定や暗証番号入力によるセキュリティプリント機能、プリントジョブの暗号化によるデータ流出防止対策などを標準装備。さらに、より簡単にセキュリティ対策を行うことができるICカード認証キット（オプション）を用意しています。

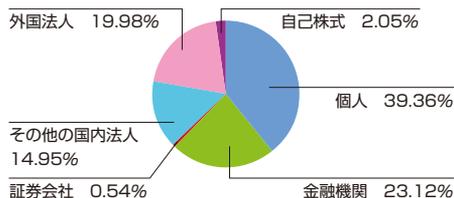


■発行可能株式総数	67,840,000株 (前期末比 増減なし)
■発行済株式の総数	26,643,166株 (前期末比1,410,000株減少)
■株主数	3,319名 (前期末比15名増加)

## ■株主数比率



## ■株式数比率



## ■自己株式の取得・消却について

当中間期中に取得・消却した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	172,300株
取得価格	244百万円
消却した株式数	1,410,000株
	(消却前発行済株式の総数に対する割合 5.03%)
消却実施日	平成20年7月1日

## ■大株主一覧 (上位10人)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社理想社	2,470	9.27
財団法人理想教育財団	1,330	4.99
羽山 昇	1,323	4.96
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	1,085	4.07
羽山 明	852	3.20
ザシルチェスター インターナショナル インベスターズ インターナショナル リュー エクイティートラスト	826	3.10
理想科学工業従業員持株会	820	3.08
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	818	3.07
みずほ信託退職給付信託東京都民銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	783	2.94
ノーザントラストカンパニー-エイブイエフシー リユーエスタックス エグゼンブテッドベンジションファンズ	779	2.92

(注)1. みずほ信託退職給付信託東京都民銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数783千株は、株式会社東京都民銀行が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものです。

2. シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミテッドから、平成20年1月17日付で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付を受けましたが、当社として当中間期末日現在における所有株式数の確認ができないため上記大株主一覧には含めておりません。なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

株主名	持株数(千株)
シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミテッド	2,812

3. アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社から、平成19年5月18日付で大量保有報告書の写しの送付を受けましたが、当社として当中間期末日現在における所有株式数の確認ができないため上記大株主一覧には含めておりません。なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりです。

株主名	持株数(千株)
アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社	1,412

● 商号	理想科学工業株式会社	● 役員	代表取締役社長	羽山 明
● 本社	〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号		専務取締役	河合 伸雄
● 創業	昭和21年(1946年)9月2日		常務取締役	高橋 靖宏
● 会社設立	昭和30年(1955年)1月25日		常務取締役	国谷多可史
● 資本金	14,114,985,384円		取締役	阿部 和男
● 従業員数	1,675名		取締役	五十嵐秀隆
● 連結子会社	24社(国内5社 海外19社)		取締役	石橋 英悟
			取締役	岡田 良隆
			取締役	遠藤喜八郎
			取締役	高橋 康信
			取締役	藤岡 秀則
			常勤監査役	波田 祥吾
			常勤監査役	谷口 隆
			監査役	鈴木 瀧夫*
			監査役	飯塚 良成*

(注) \* 印は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで	公告掲載URL	<a href="http://www.riso.co.jp/">http://www.riso.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由 によって電子公告による公告が出来な い場合は、日本経済新聞に掲載します。
定時株主総会	毎年6月	理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03(5441)6611
剰余金の配当受領 株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日		
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社		
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話 照会先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行部 (〒168-0063) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)		
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店		

### ◆本資料の記載情報

本資料におきましては便宜上、第2四半期累計期間を「中間期」と表示しております。

### ◆今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

## ■株主インフォメーション

### 株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

#### 1. 株券電子化後の未払配当金の支払いのお申出先

これまでどおり、株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

#### 2. 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先

- ①証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様: お取引証券会社など
- ②証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様: 特別口座を開設する下記口座管理機関

なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社などのご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受けられることができるのは、特別口座に記録される予定日でありませ平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

#### 記

- ・口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- ・同ご照会先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
- (郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-78-2031  
(フリーダイヤル)
- ・同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社  
本店及び全国各支店

### 株券電子化実施前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取り扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様に関しましては、以下の期間お取り扱いを変更させていただきます。

#### 1. 単元未満株式の買取請求

平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払いは平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます。(買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日(火曜日)までに値が付かない場合は返却させていただきます。)また、平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。

#### 2. 単元未満株式の買増請求

平成20年12月12日(金曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求・買増請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社などにご確認ください。

### 株券電子化実施後の配当金受取方法のお取り扱いについて

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社などにお問い合わせください。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

証券コード 6413



本中間報告書は、環境にやさしい大豆インキと、FSC認証紙を使用しております。